

時 間	プ ロ グ ラ ム
9:30	開場
10:00～10:10	開会の挨拶 公益社団法人 母子保健推進会議 会長 林 謙治 ショートメッセージ 駐日フィンランド大使館 広報・文化担当参事官 マルクス・コッコ
10:10～10:40	講演会Ⅰ「子育て世代包括支援センターを拠点にチームで親子を支える！」 座長：公益社団法人 母子保健推進会議 理事長 原澤 勇 講師：自由民主党政策担当者
10:45～12:30	シンポジウムⅠ「地域で妊娠期から切れ目なく親子を支えるために」 座長：公益社団法人 母子保健推進会議 会長 林 謙治 1. 最近の母子保健を取り巻く状況 ～子育て支援包括支援センターの概要と進め方～ 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 母子保健課課長 神ノ田 昌博 氏 2. 赤ちゃん、ようこそ ～フィンランドの親子を支える仕組みから学ぶ～ フィンランド大使館 広報部 プロジェクトコーディネーター 堀内 都喜子 氏 3. 地域連携で母子を支える ～医療機関とともに進める産後ケア～ 東京都文京区保健サービスセンター 保健指導係長 木内 恵美 氏 4. 行政との協力について考える 医療法人社団マザー・キー ファミール産院君津 理事長 杉本 雅樹 氏 5. 質疑応答
12:30～13:30	休憩
13:30～14:00	講演Ⅱ「子育て支援は母親支援 ～子育て支援包括支援センターと産後ケア～」 座長：東日本税理士法人 会長 長 隆 講師：公明党子育て支援政策担当者
14:05～16:00	シンポジウムⅡ「これからの産後ケアを考える」 座長：公益社団法人 日本産婦人科医会 顧問 田中 政信 1. 思春期から更年期まで女性をサポート ～産後ケアを中心に～ 医療法人社団東寿会 東峯婦人クリニック 院長 松峯 寿美 氏 2. 行政との連携で進める産後ケア ～地域の親子は地域で支える～ 社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院 産婦人科 竹島 絹子 氏 3. 病院助産師として取り組む産後ケア 日本海総合病院 産婦人科病棟 助産師 長濱 由佳 氏 4. 自治体と協働で取り組む産後ケア 東邦大学 看護学部教授 福島 富士子 氏 5. 質疑応答

※各演者、シンポジストの演題は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

シンポジウム 妊娠から子育てを 地域で支える！

～産後ケアを中心に～



平成26年度に「妊娠・出産包括支援モデル事業」が全国29市町村で実施され、関係部署、機関の連携による支援の重要性が改めて認識されています。現在妊娠期から子育て期にわたるワンストップ拠点を立ち上げ支援しようと「子育て世代包括支援センター」の法定化がすすめられています。その事業の一つ「産後ケア」は、出産後間もなくの母親の心身の健康と子育てを支えていくために重要であるが、現在では、本事業について自治体と医療機関等の理解度に温度差が生じている場合も少なくありません。そこで、本事業が継続的、発展的に地域に根差していくことを目的に、本事業の概要、また本事業のモデルの一つとされているネウボラを中心としたフィンランドの家族政策、先駆的に取り組んでいる自治体、医療機関等から話を聞くことにより、地域で妊娠期から切れ目なく親子を支えていく仕組みづくりについて、産後ケアを中心に考えます。

【日時】平成28年9月15日(木) 10:00～16:00 (受付開始 9:30)

【会場】赤坂区民センター3階 区民ホール

東京都港区赤坂4丁目18-13赤坂コミュニティーぷらざ 内

●地下鉄銀座線・丸ノ内線『赤坂見附駅』A出口より徒歩10分 ●大江戸線・銀座線・半蔵門線『青山一丁目駅』4番出口より徒歩10分

【対象】自治体母子保健・子育て支援担当者、医療機関産婦人科等関係者
看護系大学教員、関心のある方等

【主催】公益社団法人 母子保健推進会議

【共催】フィンランド大使館

一般財団法人 社会・特定医療法人協議会

【後援】厚生労働省(予定)、公益社団法人 日本産婦人科医会

【参加費】無料

【定員】200名 定員になり次第、締め切らせていただきます

▲ FAX申込書 : 03-3513-6026 ▲

※受講票等のご案内はメールでお送りいたします。

お名前・住所・電話番号・メールアドレス等は、はっきりとお書きください。

お申し込み日 年 月 日

フリガナ				
お名前				
ご住所				
TEL		FAX		
※Email				
フリガナ				
お勤め先				
部署名		役職		職種
参加人数	人	お申し込み代表者以外の参加申し込み者氏名		職種

お客様より主催、共催団体(母子保健推進会議、フィンランド大使館、社会・特定医療法人協議会)が取得した個人情報下記は下記の目的で共同利用いたします。目的以外での利用、無断で第三者への開示は一切いたしません。

▶共同利用の目的:①当シンポジウムの円滑な運営②問い合わせ・資料請求等に関する対応。

プログラムは裏面へ

<お問い合わせ先>一般財団法人 社会・特定医療法人協議会 担当 小島・宮澤まで

TEL:03-3513-6025 E-mail: tokuteikyo@higashinihon.ne.jp